

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 30 日現在

機関番号：34415

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2013

課題番号：22530836

研究課題名(和文)『世界図絵』、『新・世界図絵』および『最新・世界図絵』に関する総合的研究

研究課題名(英文)The general study on the book, the visible world by the senses

研究代表者

井ノ口 淳三 (INOKUCHI, JUNZO)

追手門学院大学・国際学部・教授

研究者番号：00106014

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円、(間接経費) 900,000円

研究成果の概要(和文)：チェコ、ドイツ、オランダなどヨーロッパ各地の図書館で文献調査を行い、『世界図絵』の様々な異版本を閲覧した。『世界図絵』の挿絵が初めてカラーで印刷された1883年版の特徴を明らかにしたことも重要な成果であるが、とりわけ「第3章 天空」の挿絵が1658年に発行された初版では、回転するものであったことを確認できたことは、きわめて大きな成果である。その結果『世界図絵』が世界で最初の挿絵入り教科書であるということにとどまらず、世界で最初の手でさわって動かせることのできる教材であることを明確に指摘することができた。

研究成果の概要(英文)： The edition in 1883 of the book, the visible world by senses is printed with color illustrations. There are many changes in this edition compared with the first edition of Comenius. I studied about many editions and I thought that the illustration of the third chapter was able to revolve in the original edition. I think that the book is the first teaching material, which is able to touch and handle by student.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：コメニウス 『世界図絵』 『新・世界図絵』 『最新・世界図絵』 挿絵

1. 研究開始当初の背景

報告者は、これまで一貫してコメニウスの教育思想に関する研究を継続してきた(『コメニウス教育学の研究』1998年)。近年では、とりわけ『世界図絵』に焦点を定めて研究を進めてきた。そして『世界図絵』の最初の日本語訳に取り組んだ17世紀の薩摩の青年ゴンザの研究を通して、彼が底本として用いた『世界図絵』が、1662年にニュルンベルクで刊行された版である可能性を指摘した。

この他、初版本の約半数の82章しかない「短縮版」の編集理由について考察した。また、『新・世界図絵』や『最新・世界図絵』の出版意図についての仮説も発表した。その過程で次の新たな関心と疑問が生じた。

(1)10言語版など複数の言語による翻訳の含まれている版の出版意図が不明であること

(2)19世紀後半の異版本に見られるラテン語を伴わない新たな版の刊行意義が不明であること

(3)国際的に未解明である『新・世界図絵』と『最新・世界図絵』の内容を明らかにすること

(4)挿絵も初版本とは大きく変化しているものがあるが、それらの変化の意義が未解明であること、などである。

2. 研究の目的

目的は、コメニウス(J.A.Comenius,1592~1670)の『世界図絵』(*Orbis sensualium pictus*)異版本について、章の構成、本文の内容、単語索引、挿絵等を分析し、コメニウス自身の初版本の及ぼした影響と、その役割・意義を総合的に解明することである。とりわけ、これまで世界のコメニウス研究者が研究対象としてこなかった『新・世界図絵』と『最新・世界図絵』の多彩な内容を初めて明らかにするものである。

3. 研究の方法

次の方法によって進めた。

(1)『世界図絵』の異版本の中で特徴のある版を調査・閲覧・収集した。

(2)それぞれの版について、章の構成、本文の内容、単語索引、挿絵等を比較・分析した。

(3)ドイツ、チェコ、スロバキアなどの研究者を訪問し、研究討議を行った。

(4)国際学会において研究報告を行った。

(5)国内の学会において研究報告を行った。

4. 研究成果

チェコ、ドイツ、オランダ、オーストリアなどヨーロッパ各地の図書館で文献調査を行い、『世界図絵』の初版をはじめ様々な異版本を閲覧した。助成期間中に訪ねた図書館は、デュッセルドルフ、ボーフム、ケルン、

ボン、ドルトムント、ミュンスター、アウグスブルグ、ハノーバー、ハンブルク、ブレーメン、オスナブリュック、ライプチヒ、フライブルク、ハイデルベルク、ブルノ、プラチスラヴァの各大学図書館、ザクセン、バイエルンの各州立図書館、チェコ、オーストリア、ドイツの各国立図書館、ベルリン教育図書館、ブラウンシュバイクのゲオルク・エッカート国際教科書研究所などである。

また、ビーラー・トシュメシュナー、ウースティ・ナド・ラベム、ストラージュニツェ、レボチャ、ナールデン、ハレなどコメニウスにゆかりのある土地も訪ねた。

アウグスブルグ、プラハ、ニトラではコメニウス研究者と研究討議を行った。

さらに、スロベニア国立図書館において、『世界図絵』1779年版について詳しく調査した。この1779年版は、これまでに刊行されているコメニウス関係のいずれの文献目録にも触れられていないもので、とても貴重な版であることが確認できた。

以上の調査によって、『世界図絵』の挿絵が初めてカラーで印刷された1883年版の特徴を明らかにしたことも重要な成果である。

『新・世界図絵』や『最新・世界図絵』と題する著作の中には、これより以前からカラーの挿絵のものが存在した。けれどもそれらは、本文が大きく異なっており、コメニウスの『世界図絵』とは別の種類の著作と考えるのが妥当である。したがって『世界図絵』と題する著作の中で挿絵をカラーにしたのは、この1883年版が最初のものである。

この著作を所蔵する筑波大学の附属図書館では、本書をデジタル化してホームページ上で世界中の人が閲覧できるようにしている。ところが、本書の内容は、コメニウスの初版とはかなり変化しているのである。

1883年版の特徴の一つは、本文が初版の150章に比べると132章までしかないことである。それまでにも初版の半分近くの82章や80章しかない版も出版されてはいるが、150章に近いにもかかわらず、一部を省略しているのは他に例がない。

1883年版の第二の特徴は、全体の三分の一ほどの章で、章の順序を初版から著しく入れ替えていることである。1883年版は、『世界図絵』と称しながらも初版とは大きく異なる内容になっている。それは『新・世界図絵』や『最新・世界図絵』とも異なるものであり、『世界図絵』の異版本の中では独特のものである。

オーストリア国立図書館では『世界図絵』の初版本の現物を直接手にとって閲覧することができた。それによって「第3章 天空」の挿絵が1658年に発行された初版では、回転するものであったことを確認できたことは、きわめて大きな成果である。実は現存す

るオーストリア国立図書館の初版本では、天空の挿絵は貼り付けられているので、回転しない。多くの異版本でも同様に回転しない。しかし、バイエルン州立図書館に所蔵されている1669年版は、保存状態がとても良いので、今でもスムーズに回転させることができるのである。つまり、大小二つの円の中で内側の小さな円が固定され、外側の大きな円が回転するように作られているのである。おそらく初版の挿絵もこのように作られていたのではないだろうか。そして読者が何度も回転させているうちに固定されていない外側の円は、取れて失われてしまったものと思われる。

挿絵が動くものであったということは、『世界図絵』が世界で最初の挿絵入り教科書であるということにとどまらず、「世界で最初の手でさわって動かせることのできる教材」であることを意味する。このことを明確に指摘できたことは、教育方法や教材の歴史の上において重要な成果である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 12 件)

井ノ口 淳三、「第15回学校生活と学校史博物館に関する国際会議」に参加して、追手門学院大学 Musa 博物館学芸員課程年報、査読無、第28号、2014、7 - 10

井ノ口 淳三、『世界図絵』第3章「天空」の挿絵についての覚書、追手門学院大学心理学部紀要、査読無、第7号、2013、93 - 102

井ノ口 淳三、教員の資質・能力の向上をめぐる最近の動向について、追手門学院大学教職課程年報、査読無、第21号、2013、31 - 36

井ノ口 淳三、ミュンヘンのおもちゃ博物館と人形劇博物館、追手門学院大学 Musa 博物館学芸課程年報、査読無、第27号、2013、19 - 22

井ノ口 淳三、コメニウス関係文献目録(その2)、追手門学院大学心理学部紀要、査読無、第6号、2012、95 - 103

井ノ口 淳三、領域『道徳』の教科化をめぐる諸問題、追手門学院大学教職課程年報、査読無、第20号、2012、1 - 6

井ノ口 淳三、ニュルンベルクの教育博物館—おもちゃ博物館を中心に、追手門学院大学 Musa 博物館学芸課程年報、査読無、第26号、2012、17 - 20

井ノ口 淳三、コメニウスと見る世界、教育哲学会『教育哲学研究』、査読有、第103号、2011、78 - 84

井ノ口 淳三、『世界図絵』1883年版の特徴について、追手門学院大学心理学部紀要、査読無、第5号、2011、75 - 89

井ノ口 淳三、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」に係る科目の名称と内容について、追手門学院大学教職課程年報、査読無、第19号、2011、1 - 6

井ノ口 淳三、ロッテルダムの教育博物館—教育メディアの変遷を中心に、追手門学院大学 Musa 博物館学芸課程年報、査読無、第25号、2011、13 - 16

井ノ口 淳三、良心の教育について、どのように考えるのか、関西教育学会年報、査読有、第34号、2010、186 - 190

[学会発表](計 6 件)

井ノ口 淳三、大学における教養教育とコメニウスの *Pansophia* の理念、教育史学会第57回大会シンポジウム、2013年10月13日、福岡大学

Junzo Inokuchi, Were the textbooks of J.A.Comenius interfered by the political power?, 35th International Standing Conference for the History of Education, 2013年8月23日、ラトビア大学

Junzo Inokuchi, On the image of teacher in the exhibition at school museum, 15th International Symposium on School Life and School History Museum & Collection, 2013年6月28日、スロベニア国立学校博物館

Junzo Inokuchi, On the internationalization in education in case of the textbook for children mainly "The newest orbis sensualium pictus" in the 19th century, 34th International Standing Conference for the History of Education, 2012年6月30日、ジュネーヴ大学

Junzo Inokuchi, On the Educational Consideration for Children in the 17th Century - Mainly "Orbis sensualium pictus" of J.A.Comenius, 32nd International Standing Conference for the History of Education, 2010年8月27日、アムステルダム大学

井ノ口 淳三、1990年以降の日本におけるコメニウス研究の動向と課題、日本教育学会第69回大会、2010年8月27日、広島大学

井ノ口 淳三、1990年以降の日本におけるコメニウス研究の動向と課題、日本教育学会第69回大会、2010年8月27日、広島大学

井ノ口 淳三、1990年以降の日本におけるコメニウス研究の動向と課題、日本教育学会第69回大会、2010年8月27日、広島大学

[図書](計 4 件)

井ノ口 淳三、大学生の学力とリテラシー、田中 耕治・井ノ口 淳三編、八千

代出版、学力を育てる教育学(第2版)、
2013、187 - 202
井ノ口 淳三、国際理解教育への貢献
ランゲフェルトとコメニウス、和田 修
二・皇 紀夫・矢野 智司編、ランゲフ
ェルト教育学との対話、玉川大学出版部、
2011、270 - 283
井ノ口 淳三、デジタルメディア時代の
教育方法学の課題、日本教育方法学会編、
教育方法 40 デジタルメディア時代の
教育方法、図書文化、2011、37 - 48
井ノ口 淳三、学生相互の学びあいをめ
ざして、阪神地区私立大学教職課程研究
連絡協議会編、教師を育てる 大学教職
課程の授業研究、ナカニシヤ出版、2010、
17 - 29

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

<https://www.gyoseki.otemon.ac.jp/oguhp/KgApp?kyoinId=ymedgkyyggy>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

井ノ口 淳三 (INOKUCHI, Junzo)
追手門学院大学・国際教養学部・教授
研究者番号：00106014

(2) 研究分担者

なし ()

研究者番号：

(3) 連携研究者

なし ()

研究者番号：